

知能情報工学演習I 第12回(後半第6回) 課題の回答

岩村雅一

masa@cs.osakafu-u.ac.jp

前回の課題1

- 球の体積を計算するマクロを作り、球の半径(小数とする)を入力したとき、球の体積を返すプログラムを作成しなさい。

```
#include<math.h>
#include<stdio.h>
#define V(r) 4.0/3.0*M_PI*r*r*r

int main(void){
    float i;
    printf("半径を小数で入力: ");
    scanf("%f",&i);

    printf("半径%fの球の体積は%fです。
        ¥n",i,V(i));

    return(0);
}
```

マクロ中の
rをiに置き換える

課題1で実際にあった間違い(その1)

- 球の体積を計算するマクロを作っていない。
(題意に反する)
- 係数が整数扱い(4/3=1)になっている
`#define V(r) 4/3*M_PI*r*r*r`
- 体積の公式を間違っている。
□ $\frac{3}{4} \pi r^3$

課題1で実際にあった間違い(その2)

- マクロの使い方が正しくない。

(たまたま動いた)

```
#define ts(r) 4*M_PI*a*a*a/3
```

...

```
printf("その球の体積は%f¥n",ts(a));
```

rをaに置き換えようとしても、もともとrがない。今回はたまたまaを使っていたので、うまくいった。

もし、呼び出し側でa以外の変数を使っていたら、正しく動かなかった。

- 間違いではないが、ファイル名がおかしいため、危うく見落とすところだった。

□ 0710-10801070**-1.c

前回の課題2

□ 階乗(1からnまでの自然数の積)を計算する関数を作り、順列と組み合わせを表示しなさい

■ 順列

$${}_n P_r = n(n-1)(n-2)\cdots(n-r+1) = \frac{n!}{(n-r)!}$$

■ 組み合わせ

$${}_n C_r = \frac{{}_n P_r}{{}_r P_r} = \frac{n!}{r!(n-r)!}$$

前回の課題の回答例1 (for文を使った場合)

```
#include <stdio.h>

/* 階乗を計算する関数 */
int fact(int x) {
    int i, fact = 1;
    for(i = 2; i <= x; i++) {
        fact *= i;
    } fact = 1 * 2 * 3 * 4 * ...
    return(fact);
} 0!や1!もok
```

```
int main (void){
    int n, r, p, c;

    printf("n: "); scanf("%d", &n);
    printf("r: "); scanf("%d", &r);


    p = fact(n) / fact(n-r);
    c = fact(n) / fact(n-r) / fact(r);

    printf("nPr = %d¥n", p);
    printf("nCr = %d¥n", c);

    return(0);
}
```

前回の課題の回答例2 (関数の再帰的呼び出し)

main関数は説明
のために消去



```
#include <stdio.h>

/* 階乗を計算する関数 */
int fact(int x) {
    if (x==1 || x==0) {
        return(1);
    } else {
        return(x*fact(x-1));
    }
}
```

```
int main (void){
    int n, r, p, c;

    printf("n: "); scanf("%d", &n);
    printf("r: "); scanf("%d", &r);

    p = fact(n) / fact(n-r);
    c = fact(n) / fact(n-r) / fact(r);

    printf("nPr = %d\n", p);
    printf("nCr = %d\n", c);

    return(0);
}
```

前回の課題の回答例2 (関数の再帰的呼び出し)

例: fact(2)の場合

```
#include <stdio.h>
```

```
/* 階乗を計算する関数 */
```

```
int fact(int x) {  
    if (x==1 || x==0) {  
        return(1);  
    } else {  
        return(x*fact(x-1));  
    }  
}
```

||
fact(1)
||
1

fact(1)の計算

```
/* 階乗を計算する関数 */
```

```
int fact(int 1) {  
    if (x==1 || x==0) {  
        return(1);  
    } else {  
        return(1*fact(1-1));  
    }  
}
```


前回の課題の回答例2 (関数の再帰的呼び出し)

```
#include <stdio.h>
```

```
/* 階乗を計算する関数 */
```

```
int fact(int x) {  
    if (x==1 || x==0) {  
        return(1);  
    } else {  
        return(x*fact(x-1));  
    }  
}
```

$$\begin{aligned} & \text{fact}(4) \\ = & 4 * \text{fact}(3) \\ = & 4 * 3 * \text{fact}(2) \\ = & 4 * 3 * 2 * \text{fact}(1) \\ = & 4 * 3 * 2 * 1 \end{aligned}$$

課題2で実際にあった間違い(その1)

- コンパイルが通らない。
- 階乗を計算する関数を作っていない。
(題意に反する)
- 計算式が違う。

□ 順列? ${}_n P_r = \frac{n!}{r!}$

正解は

$${}_n P_r = \frac{n!}{(n-r)!}$$

課題2で実際にあった間違い(その1)

- コンパイルが通らない。
- 階乗を計算する関数を作っていない。
(題意に反する)
- 計算式が違う。

□ 順列? ${}_n P_r = \frac{n!}{r!}$

正解は

$${}_n P_r = \frac{n!}{(n-r)!}$$

課題2で実際にあった間違い(その2)

- main関数の中で関数を定義している(関数の入れ子)。
 - GNU Cコンパイラの拡張機能なので、使えない環境がある。

```
int main(void){
```

```
    int bikkuri(x){
```

```
        ...
```

```
        return t;
```

```
    }
```

```
int n,r,nPr,nCr;
```

今回は正解にしました